

# 世界史B 近現代 4 革命の第二波・1830年代の諸革命

## 1,七月革命

シャルル10世(位1824~30)=ルイ18世の弟。兄以上の反動的な専制政治。ブルボン朝最後の王。

┌( )解散 選挙資格の制限⇒有権者の4分の3を無資格に→国民の0.3%  
「七月勅令」---出版の統制など⇒絶対王政復活をはかる。貴族・聖職者を優遇。

└仏革命期の亡命貴族に多額の補償金=10億フラン⇒国庫負担とする

┌1830年6月( )2出兵⇒国民の不满を逸らすため  
⇒**仏アルジェリア植民地**の端緒(1834年アルジェリア併合)

1830年7月27日 パリの民衆が蜂起、三色旗を掲げて街頭にバリケード ⇒( )3革命  
国王は英へ亡命⇒自由主義者のオルレアン家**❖a**のルイ=( )4(位1830~48) 新国王

七月王政⇒銀行家など大ブルジョワジーが支配的⇒仏( )5革命の進行。

❖a--オルレアン公爵。貴族の最高位。王太子につきフランス国王の男子または弟に授けられる。

## 2,七月革命の影響

┌8月ベルギー=南ネーデルラント**❖b**の( )6で反乱。  
翌年オランダ(ネーデルランド連合王国)から独立⇒**ベルギー王国**=立憲王政・( )7の国へ

└11月ポーランド立憲王国の( )8蜂起**❖c**=陸軍士官学校の生徒達の蜂起が発端(11月29日)  
→武装したポーランド市民がロシア軍をワルシャワ郊外に撤退させる。ポーランド全土に波及。  
→翌年ロシア軍が出兵→「ロシア=( )9戦争」(1830~31)  
女性将校**エミリア**・( )10**❖d**(1806~31)らの活躍 →敗北(以後ロシアが直接支配)

┌イタリアのカルボナリの再蜂起(ボローニャ、パルマなど)→「( )11=再統一運動」

→いずれも鎮圧される。

1831年 **ジョゼッペ**・( )12**❖e**(1805~72)は、共和政・統一をめざす**青年イタリア****❖f**結成。

❖b---ウィーン会議で**セイロン**と**ケープ植民地**を英領とする代わりにオーストリアからオランダに与えられた。

❖c---ロシアがフランス、ベルギーの革命にポーランド軍を派遣しようとして、ポーランド全土で反対運動がおこる。西  
欧諸国で大きな共感を呼ぶが、英仏の政府は傍観。作曲家**ショパン**(1810~49)は故郷での蜂起失敗の知らせを聞き練習  
曲「ハ短調( )13」を作曲。

❖d--**ヴィリニウス**(リトアニア首都)生まれのポーランド貴族(**シュラフタ**)。大鎌で武装した農民兵を指揮したのちリトア  
ニア歩兵連隊長となりロシアと戦う。31年12月病死。ポーランド、リトアニアの国民的英雄。

❖e---イタリア統一運動期の政治家。ジェノバ生まれ。弁護士。カルボナリに入党。1831年新たに「**青年イタリア**」結成。  
イタリアの統一された自由共和国の創設をめざす。「**イタリア統一の三傑**」

❖f---イタリア統一をめざす友愛団体。「**自由・平等・人道・統一**・( )14」と書かれた三色旗(白・赤・緑)⇒**イ  
タリア共和国**国旗の由来。1833年党员6万人。

## 3,労働運動と社会主義

資本主義社会の確立にともなって資本家と労働者の対立が激化

┌( )15法の制定などを求める労働運動がおこる

└資本主義のしくみを変革して新しい社会をつくろうという**社会主義**思想

社会主義思想---( )16**活動の自由**や**私有財産の権利**を制限して全体の福祉をはかろうとする考え方

### 社会主義の動き

資本主義の弊害(貧富の格差の増大など)を批判して、さまざまな理想社会のプランを描く試み。

┌イギリスの**オーウエン**(1771~1858)→次プリント

└フランスの**サン=シモン****❖g**(1760~1825)、**フーリエ****❖h**(1772~1837)

フランスの**ルイ=ブラン****❖i**(1811~1882)---生産の( )17**統制**をめざす

**プルードン****❖j**(1809~65)---**園家**権力を否定する( )18**主義**の先駆者

→「( )19**的**社会主義」(「科学的**社会主義**」の立場からの語。20世紀以降再評価される傾向もある)

ドイツの**カール・マルクス****❖k**(1818~1883)、**エンゲルス****❖l**(1820~1895)が共同で発表

『**共産党宣言**』 ---「万国の( )20=古代ローマ**Plores**から=よ、団結せよ!」

『( )21**論**』---資本主義の矛盾と没落の必然性を説く

→自らを「( )22**的**社会主義」と唱える---後世に大きな影響

❖g**サン=シモン** 貴族の末裔。米独立戦争に義勇軍参加。仏大革命時はリュクサンブール宮に幽閉。

「( )23階級は僧侶・貴族より重要」「富者は貧者を救済すべき」とした。

❖h**フーリエ** 国家の支配を受けない( )24=**アソシアシオン**=を理想とる。生産手段の共有。

❖i**ルイ=ブラン** 1848年臨時政府で閣僚。労働時間短縮と( )25**作業場**設立。  
「各人がその才能に応じて生産し、その必要に応じて( )26する」

❖j**プルードン** 財産平等の理想による社会改革。二月革命でチュイルリー宮占領に参加。補欠選挙で国民議会議員。  
「貧困の哲学」「一革命家の告白」など。

❖k**マルクス** ドイツの経済学者・哲学者。プロイセン生まれ。「**ライン新聞**」編集長。  
1849年ロンドンに亡命。1881年「**資本論**第一巻」出版。( )27**史観**を提唱。

❖l**エンゲルス** ドイツ人実業家、思想家、革命家。マルクスの友。マンチェスターの商会に勤務。  
ロンドンで「**共産主義者同盟**」(1847~50)組織。「**資本論**第二・三巻」出版。



ドラクロワ「民衆を導く自由の女神」



ルイ=フィリップ



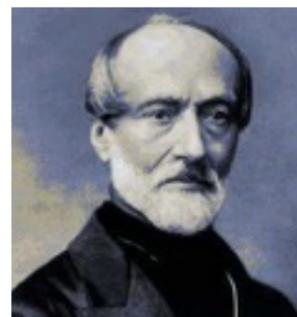
ポーランド農民兵を率いるエミリア=プラテル



フリデリック=ショパン



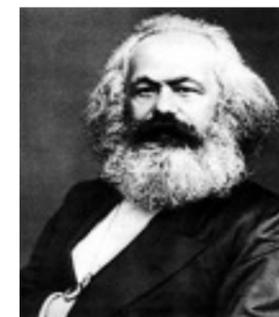
エミリア=プラテル



ジョゼッペ・マッツィーニ



ルイ=ブラン



マルクス



エンゲルス

- ・独立 ・革命 ・空想 ・工場 ・資本 ・国家 ・産業 ・消費 ・経済 ・七月 ・十一月 ・議会
- ・唯物 ・科学 ・生産 ・国立 ・共同体 ・無政府 ・大統領 ・プラテル ・フィリップ ・カトリック
- ・ポーランド ・アルジェリア ・ブリュッセル ・マッツィーニ ・リソルジメント ・プロレタリアート